

当日投票所での時間別投票者数集計について

1. 当日投票所での投票者数記録・集計の現状

現 状

【投票時間中(7時～19時)】

男女別の「当日投票システムでの投票者数」「点字投票者数」「棄権者数」を記録する。(投票所へ時間ごとの集計・突合作業は指示していない)

なお、一部の投票所では、自主的に「当日投票システムでの投票者数」や「用紙交付機カウンター数」などを確認し、毎時間、投票者数の突合作業をしている。

【投票所閉鎖後(20時)】

投票所閉鎖後、当日投票システムでの投票者数や投票用紙交付機カウンター数、点字投票者数累計などとともに、「**投票者数(投票した者の総数)**」を算出する。

投票所が受領した投票用紙枚数や投票用紙残枚数、棄権者数累計とともに、「**投票数(投票箱内の票の総数)**」を算出する。
⇒「**投票者数**」と「**投票数**」を突合する。

2. 現状の問題点

問題点

【投票者数算出の不確実さ】

投票者数は、主に「当日投票システムでの投票者数」と「投票用紙交付機カウンター数」の2つをもとに算出している。

しかし、名簿対照係で受付漏れが発生した場合や投票用紙を貰わず退所する選挙人がいた場合、「当日投票システムでの投票者数」や「投票用紙交付機カウンター数」が誤った数値となり、実態に即した投票者数が算出できない可能性がある。

【投票者数と投票数の不一致の原因特定が難しい】

現在の運用では投票所閉鎖後(20時)のみ突合作業をする様式となっている。(一部投票所では毎時間実施)

そのため、集計時に投票者数と投票数の不一致が発覚しても、原因(どの時間帯・どの選挙人・どういった理由で)を特定することが難しく、正しいリカバリーが行えない。

【集計に関する決裁機能がない】

現在の運用では、投票者数の集計及び投票速報入力、投票録の記載を庶務係長が担っている。

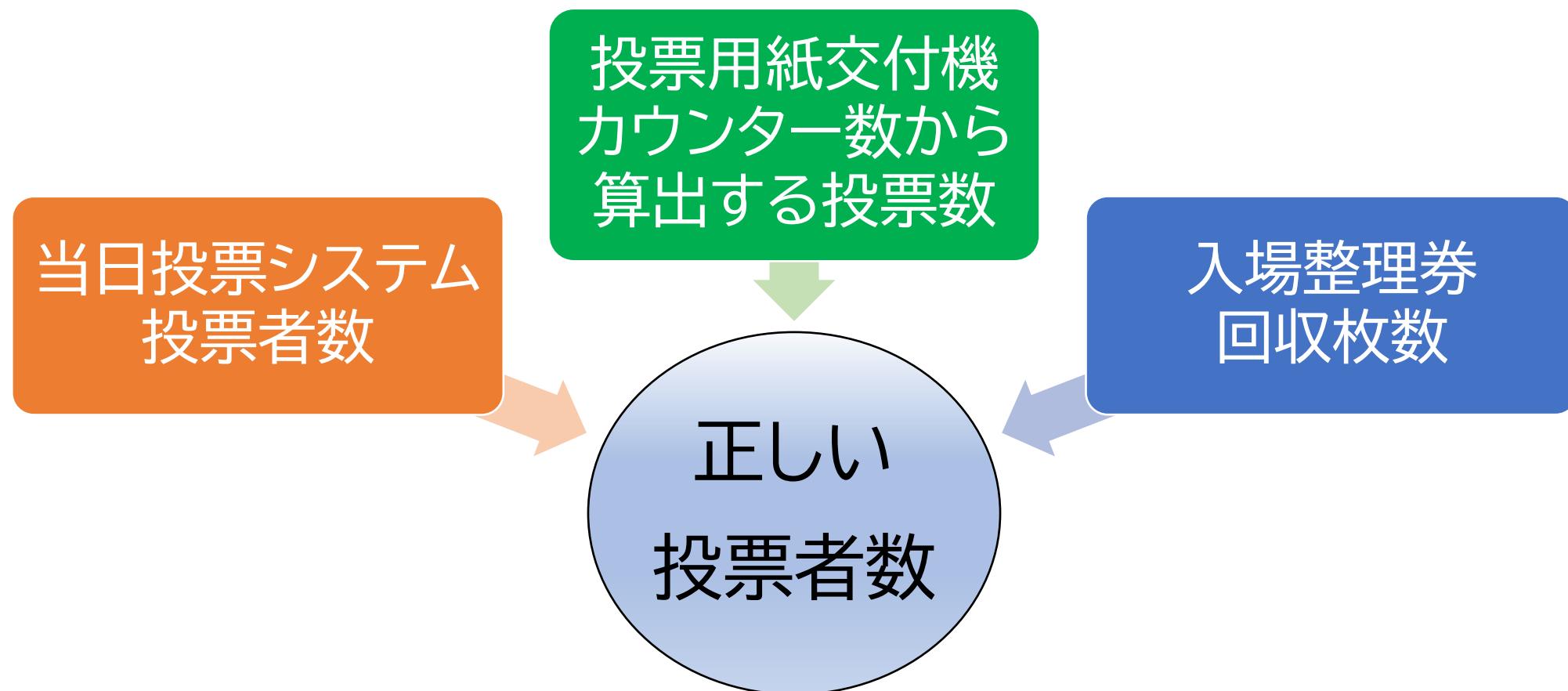
投票者数に関する全ての業務をひとりの担当が行う体制では、計算ミスや記入ミスなどにより、投票者数と投票数の不一致が発生する危険性がある。

3. 時間別投票者数集計の実施について

改善策

当日投票所において、毎時間、

【当日投票システムでの投票者数】【投票用紙交付機カウンター数から算出する投票数】【入場整理券回収枚数】
の3点を用いた時間別投票者数集計・突合作業を実施し、複数人で集計・突合の整合性チェックを行う。



4. 具体的な集計方法及び投票録への反映

投票時間中(7時～19時)

<集計作業>

各係から数字を報告			時間別の数を記入		手計算		確認欄			
【当日投票システム】投票者数累計			【用紙交付機】カウンター数累計	【用紙交付機】時間別入場整理券回収枚数	時間別点字による投票者数	時間別棄権者数	【当日投票システム】時間別投票者数	投票数累計(投票箱内の票数)	庶務係長	事務長
男性	女性	合計								
A'	A"	A★	B	C●	D	E●	F● (1時間前のA★を引く)	G★ =(B+D累計 -E累計)		
8時	155	98	253	253	253	0	0	253	253	明選 選挙
9時	216	141	357	356	104	1	0	104	357	明選 選挙

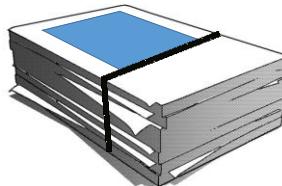
当日投票システム画面左下の投票者数を転記



投票用紙交付機カウンター数を転記



時間別の入場整理券回収枚数を記入



時間別の点字投票者数と棄権者数を記録

<突合作業>

投票者数累計(A★)と投票数累計(G★)を突合する。(当日投票システムでの投票者数と投票用紙交付機カウンター数から算出する投票数の突合)
時間別入場整理券回収枚数(C●)と時間別棄権者数(E●) + 時間別投票者数(F●)を突合する。(入場整理券回収枚数と当日投票システムでの投票者数の突合)
⇒事務長と庶務係長が確認して押印

【時間別投票者数】

→同時刻の当日投票システムでの投票者数累計から1時間前の同数値を引いて算出
F●=同時刻A★-1時間前A★

【投票数累計】

→投票用紙交付機カウンター数に点字投票者数累計を足し、棄権者数累計を引いて算出

4. 具体的な集計方法及び投票録への反映

投票所閉鎖後(20時)

<集計作業>

各係から数字を報告			時間別の数を記入		手計算		確認欄								
【当日投票システム】投票者数累計			【用紙交付機】カウンター数累計	【用紙交付係】時間別入場整理券回収枚数	時間別点字による投票者数	時間別棄権者数	【当日投票システム】時間別投票者数	投票数累計(投票箱内の票数)	庶務係長	事務長					
男性	女性	合計			A'	A"	A★	B	C●	D	E●	F●	G★	H★	I●
20時	2,163	1,927	4,090	4,092	281	0	1	280	4,090	明選	選舉				
					点字による投票者数 D累計	3									
残票による票数計算(20時)															
受領枚数			投票用紙	点字投票用紙	残数		投票用紙	点字投票用紙	棄権者数 E累計	票数計算結果 H★	確認欄		庶務係長	事務長	
投票用紙	+	点字投票用紙			投票用紙	点字投票用紙				=	4,090				
6,000	+	4	-	1,908	-	1	-	5	=	4,090	明選	選舉			

最後の選挙人が投票した後、投票時間中(7時から19時)と同様に集計する。

投票所が受領した投票用紙の枚数や投票用紙残枚数、棄権者数累計をもとに、票数計算結果(残票から算出する投票数)を算出する。

<突合作業>

投票者数累計(A★)と投票数累計(G★)と票数計算結果(H★)を突合する。(当日投票システムでの投票者数と投票用紙交付機カウンター数から算出する投票数と残票から算出する投票数の突合)

時間別入場整理券回収枚数(C●)と時間別棄権者数(E●)+時間別投票者数(F●)を突合する。(入場整理券回収枚数と当日投票システムでの投票者数の突合)

⇒事務長と庶務係長が確認して押印

4. 具体的な集計方法及び投票録への反映

投票所閉鎖後(20時)

<投票録作成及び投票速報報告>

7 投票の状況	選挙人名簿数		選挙当日(午後8時)の有権者数 (補正登録者含む)	a+b 投票者数
	登録者数	投票者数		
男	5,121		4,561	2,163
女	4,987		4,321	
計	10,108		8,882	4,090

(1) 投票者の内訳	a 当日投票所における投票者数	b aのうち、仮投票による投票者数	bの内訳		
			不在者投票者数 ア+イ+ウ	ア 受理された者の数	イ 不受理の決定を受けた者の数
男	2,163	0			
女	1,927	0			
計	4,090	0			

(2) 点字により投票した者	c+d 投票所で点字投票をした者	3 人	c 投票所で点字投票をした者	3 人	d 不在者投票を点字により行った者 人



時間別投票者数集計表の

【投票者数累計(20時時点)】【点字による投票者数累計】【当日有権者数(20時時点)】

を投票録に転記する。

投票録に転記した数値を投票速報システムに相違なく入力・報告する。

●●●選挙 第 71 投票所 時間別投票者数集計表				
各係から数字を報告			時間別の数を記入	
【当日投票システム】 投票者数累計		【用紙交付係】 時間別 カウンター数	【用紙交付係】 時間別 回収枚数	手計算
男性	女性	合計		
A'	A"	A★	B	C● D E●
8時	155	98	253	253 0 0
9時	216	141	357	356 104 1 0
10時	521	394	915	915 559 0 1
11時	747	605	1,352	1,353 438 0 1
12時	869	699	1,568	1,569 216 0 0
13時	1,109	924	2,033	2,033 466 2 1
14時	1,263	1,044	2,307	2,307 274 0 0
15時	1,314	1,184	2,398	2,398 91 0 0
16時	1,488	1,259	2,747	2,747 349 0 0
17時	1,664	1,132	3,096	3,096 349 0 0
18時	1,754	1,507	3,261	3,262 166 0 1
19時	2,028	1,782	3,810	3,811 549 0 0
20時	2,163	1,927	4,090	4,092 281 0 1
点字による投票者数 D累計				
3				
残票による票数計算(20時)				
受領枚数	返却枚数	残数	乗権枚数	票数計算結果
6,000	+ 4	- 1,908	- 1 -	H★ = 4,090
投票所開設時間	点字投票用紙	投票用紙	E累計	確認欄
				事務長 係員

当日投票システムの投票受付画面左下の分母の数値を記入(20時)		
当日前有権者数		
4,561	4,321	8,882

(エクセルアドイン)
 投票時間中(8時～19時)…「A=G」「C=E+F」であることを確認
 投票所閉鎖後(20時)…「A+G=H」「C=E+F」であることを確認
 ・A>Gの場合 用紙交付していない人がいる。または、「点字による投票者数(D)」の集計が漏れている。
 ・A<Gの場合 「乗権者数(E)」の集計が漏れている。
 ・C>E+Fの場合 当日投票システムで読み込んでいない入場整理券がある。
 注1) C, D, Eには各時間帯の男女合わせた数字を入力する。
 注2) Gを算出するときは、それまでの時間のD累計及びE累計を使うこと。

5. 時間別投票者数集計による効果

効 果

【正確な投票者数の算出】

時間別での集計・突合や複数人での整合性チェックにより、集計精度が高まり、正確な投票者数を算出することが可能となる。

【投票者数と投票数の不一致の原因特定】

時間ごとに集計することで、名対漏れ等による数値のズレに気が付きやすくなり、正しくリカバリーできる可能性が高まる。